

食支援ネットかながわ



食支援ネットかながわの思い

1. 食べたいを支援することから、次の支援へ。

2. FACE TO FACE を大事にして心の通った支援を行いたい。

食品を渡すことだけでなく、そこから次の支援へ繋げること。

そのための、場所・環境を作っていきたい。

主な活動について

1. フードバンク団体や各支援団体と連携しフードパントリー(食品無料配布)やフードドライブ(食品を集める)等を行っています
2. NPO法人セカンドリーグ神奈川が立ち上げた[ビーバーリンク](#)(人々が集い、力を合わせて、資源が循環し安心して暮らせるまちになるような活動)で、パルシステム神奈川の各配送センターを拠点として、パルシステムの野菜・果物等や冷凍冷蔵品、協力企業や団体からの寄付品を持ち寄り、必要な所に提供しています。

パルシステム神奈川の配送センターをえることによって“冷蔵・冷凍品”が安心して扱えるようになりました。ここで、情報交換・物々交換等も行い、新たな交流も生まれています。

⇒事例報告:ビーバーリンクのページで、活動団体を紹介

3. 放課後等デイサービス、寄り添い型生活支援施設、子ども食堂・地域食堂等への食品支援

4. 他団体と連携したフードパントリー

⇒事例報告:支えあいの会フードパントリー、子ども食堂すくすくフードパントリーで説明

事例報告:ビーバーリンク パルシステム神奈川の各配送センターで



鶴見配送センターにて

駒岡丘の上子ども食堂
なまむぎこども食堂
つるみ元気塾
ひとり親支援
サードプレイス
ABCジャパン 6団体



南配送センター(金沢区)にて

金沢子ども食堂すくすく
よこすかなかなかや
となりのれすとらん
もりのお茶の間
神奈川フードバンク・プラス
満福子ども食堂 6団体



北配送センター(港北区)にて

支えあいの会
関内まちづくり協議会
MGMプロジェクト
六角橋子ども食堂
おもいやりカンパニー
5団体



(株)野口食品
の冷凍食品



とんこつラーメン
一蘭の冷凍肉
1パック500g
毎週150~200個
をいただく。



パルシステムの野菜

事例報告：支えあいの会とのフードパントリー 食料提供の場から、新たな居場所へ



支えあいの会とは、NPO法人元気福祉就労支援ボランティア放課後等デイサービスふれあい広場が、2020年5月1日に生活介護事業所として開設しました。

2020年7月11日より、毎月第2土曜日13時から16時まで屋外の広場で開催。
ひとり親家庭、DV被害者、留学生、コロナで大変になった方等を対象。

コミュニケーションを取りながら、食品等をお渡ししています。
帰りに、「また、お願いします」と言ってもらえるように。



（支えあいの会スタッフの感想）

- ・この出会いには、“また”がある、ここに来れば“また”会える、“ひとりではない”
- ・ここで出会った皆さんが食料品だけではないものを受け取って帰られている

＜食料支援の場から、次に繋がる新たな居場所と一緒に作っていきます＞

ABA（応用行動分析学：発達障害や自閉症への療育に有効）セラピスト
NPO法人DV対策センター代表もスタッフとして参加しています

事例報告：金沢子ども食堂すくすくとのフードパントリー 居場所から、お互いに支えあえる場へ

金沢子ども食堂すくすくは、2017年5月より毎月1回子ども食堂を開催
2018年8月より、毎月1回いきいきセンター金沢(金沢区社会福祉協議会)で調理室と会議室を使い
ひとり親支援“ホッとサロンすくすく”を開催

コロナ対応で、食品提供者はフェイスガードを使用。

フードパントリーだけでなく、**洋服・ランドセル・文房具類・本等、スタッフや参加者が持ち寄っています。**

広いスペースを利用して、子どもたちの相手をしています。



その他、こんなこともしています。



エキシカル・トークかな
がわ2019 食品ロスに
ついて話そう！
で、ブーススタッフ



横須賀市で食支援を
行っている団体と一緒に
炊き出しを行う



ABA公費化を目指す親
の会と一緒に、フード
ドライブを行う



神奈川子ども食堂・地域
食堂ネットワークと連携
し、アサヒグループHD
様からの寄贈食品の配
布を行う

以上、ご清聴ありがとうございました。